鹿児島大学教育学部代用附属　鹿児島市立伊敷中学校　学校だより（令和４年度 第10号）

常盤の翠

志・寛・錬

発行
令和4年12月23日
鹿児島市立伊敷中学校

自分に克ち　夢に近づく冬休み

校長　河瀬　雅之

「助手席で　進路希望を話すとき
母は静かにラジオを消した」

塾か学校の送り迎えでしょうか。たった三十一文字ではありますが、**母親の優しさがしみじみと伝わってくる句です。**

これは、皇居で行われる新年早々の恒例行事、歌会始で二年前に最年少入賞を果たした新潟県の高校生、篠田朱里さんが詠んだ句です。

母の思いもさながらそこに気付き句に詠んだ生徒の感性も素晴らしいと思います。全ての家庭がこんな親子関係であればいいなと思いながらも、自分はどうかと振り返ると、テレビを見ながら聞く妻の話をどれだけ真剣に受け止めているのか反省させられます。

親が子の幸せを願う心ほど貴いものはありません。伊敷中学校ではこの時期になると、父親セミナーの皆様他有志による門松作りが恒例となっています。冬休みに入る前に作り、生徒が門松を眺めながら登下校できるようにしたい。そして、**新しい気持ちで良い新年が迎えられるようにしてあげたいという親心が込められています。**今年の門松作りは十七日（土）に予定されていましたが、荒天のため中止せざるを得ませんでした。中止の連絡を受けた父親セミナーの皆様からは、「残念だがまた他の形で協力したい」「何かお手伝いできることがあれば連絡ください。」など温かい言葉を沢山頂きました。また変更日の二十日（火）には、平日にもかかわらず、駆けつけてくださった保護者の方もいらっしゃいました。**その気持ちが大変嬉しく、感謝の気持ちで一杯になりました。**

途中縄や竹が足りなくなるなどハプニングもありましたが、今年も立派な門松ができました。

いよいよ明日から冬休みです。三年生にとってはまさにこれからが人生の最初の扉を切り開く正念場となります。迷い無く進路に向けての学習が進んでいるでしょうか。先日行われた入試激励会では、三年生が自分に克ち、目標に近づくことができるようにとの願いを込め、江戸時代松山藩を再興した陽明学者山田方谷の言葉を記した、しおりを作りプレゼントしました。

学業如鍛鉄
一鍛不可休
要成百錬剛

「学業はさながら鉄を鍛えるようなもので、一時も手を休めてはならない。鉄を繰り返し打ちかたくするのと同じで決して軟弱に打ってはならない。」この言葉はそんな意味だそうです。裏面には「必勝祈願」の文字も載せました。「合格祈願」ではなく「必勝祈願」です。**高校入試の結果は、神頼みではなく、自分次第、勝負する相手は、周りの誰でもなく自分の心**なのです。

人生百年時代をどう生きるか。志の立て方一つで、その後の人生は大きく変わってきます。ご家庭でも将来について、生き方について子供さんとじっくり向き合う冬休みにして欲しいと思います。**三年生の皆さんには、保護者や先生方など多くの支えをバネに自分に克ち、長い人生の中の入試という一つの通過点を無事乗りこえて欲しい**と思います。

それでは皆さん、どうぞ良いお年をお迎えください。

雨で延期となりましたが、無事に門松が完成しました。

第二回資源回収

十日（土）に、第二回資源回収が行われました。第一回が中止となっていたため、今年度初めての資源回収となりました。久しぶりの地域貢献イベントは、三年生のリーダーシップのもとスムーズに行われました。三年生の、「こういうイベントをもっとしたかったです。」という言葉から、地域のために何かできることはないかという気持ちが伝わってきました。今回の資源回収で、三年生は終わりとなります。次回からは、二年生がリーダーシップを発揮して、後輩たちを引っ張ってほしいと思います。

さて、皆さんは、「Think globally, Act Locally.」という言葉を知っていますか。一年生の英語の教科書に出てくる言葉です。「地球規模で考え、身近な所から行動しよう。」という意味です。今回のように、自分の暮らす地域から地域貢献をしていきましょう。

防災に関する講話

十日（土）に、NHK鹿児島からアナウンサーの白鳥哲也さんによる防災に関する講話をいただきました。冒頭では、夕方のニュース番組さながらに、伊敷中のために作られたニュース映像が流れ、とても嬉しいサプライズとなりました。白鳥さんが講話の中で、「自然災害は予期せぬ時におこるものなので、防災への意識を常に高め、準備をしておくことが大切だ。」と言われていました。皆さんはご存知ですか。大雨が降った際に避難警報が出されても、ほとんどの人は避難しないそうです。そこで、どんな言葉を掛ければ身近な人を避難させることができるかについても考えました。様々な意見が出て、今後に生かせる大切な時間となりました。

生徒会　入試激励会

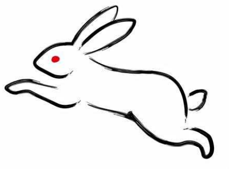
二十日（火）、生徒会による入試激励会が行われました。入試激励会とは、これから受験シーズンを迎える三年生に、一・二年生が激励の言葉を送る会です。舞台上では一・二年生の代表が、言葉をつなぐことで、三年生に向けてのエールを送りました。一・二年生全員分のメッセージが三年生に渡され、代表の田代さんが受験に向けての力強い抱負や後輩たちへの感謝を述べていました。また、三年生一人一人に向けて、校長先生手作りのメッセージカードも配られました。これからが本番ですね。一日一日を大切に、受験勉強を頑張ってください。

今年の締めくくりに

今年もいよいよ残りわずかとなりました。年の瀬になると毎年、今年の世相を表す漢字が発表されます。これは毎年、十二月十二日（いいじいち）に京都の清水寺で発表が行われています。今年の漢字は、「戦」でした。理由としては、ロシアのウクライナ侵攻、サッカーワールドカップでの日本代表の活躍、物価高や新型コロナウイルスへの対応などが挙げられるようです。ちなみに、二位は「安」、三位が「楽」だったようです。皆さんが今年一年を表すなら、どの漢字を選びますか。ぜひご家庭でも話題にし、今年一年を振り返ってみてください。

さて、皆さんにとって今年は、どんな年になりましたか。ひき続き、新型コロナウイルスの影響による制限はありましたが、規制がずいぶん緩和された一年となりました。学校生活を振り返ると、学校行事も、以前と同じような形でできることが多くなりました。生徒の皆さんが行事に向けて練習に励む姿や当日おもいっきり楽しんで活動する姿は、周囲に元気を与えます。皆さんは、それだけのパワーがあります。活気のある学校っていいものですね。来年も楽しみです。

来年は兎年です。少し調べてみると、うさぎが跳躍する姿から、「飛躍」や「向上」の一年と言われています。来年は、伊敷中学校に関わる全ての人にとって、飛躍の一年になることを祈願して、締めくくりの言葉にさせていただきます。今年も一年、ありがとうございました。また来年もどうぞよろしくお願いします。



主な行事予定

10(火)　始業式
11(水)　三校合同あいさつ運動
14(土)　土曜授業
17(火)　1・2年鹿児島学習定着度調査(～18日)
19(木)　1年社会人に学ぶ
20(金)　入学説明会
25(水)　2年職場体験(～27日)

※　新型コロナウイルス感染症対策のため，行事等を変更する可能性があります。変更があった際は，その都度連絡をします。